

# と き と り 桃 花 鳥

佐渡市立新穂小学校



ホームページ <http://niibo-es.sado.ed.jp>  
E-mail [niibo-es@sado.ed.jp](mailto:niibo-es@sado.ed.jp)

第380号  
平成28年6月22日

地域の皆様のご支援に感謝して

校長 香遠 正浩

佐渡市教育委員会に残っている記録では、新穂小学校で給食が開始されたのは「昭和20年5月」とあります。太平洋戦争が終結する前のことです。この時点で給食があった学校は島内には存在しません。そのように前例がない中、なぜ新穂小は先行実施したのでしょうか。そしてどんな給食だったのでしょうか。詳しい記述がないので分かりませんが、ある方にお聞きしたところ、「学校には暖飯器があった。イナゴの味噌汁だった。」とのことでした。きっと当時の有力者が子どもの健やかな成長を願って始めたのでしょうか。

同じことは「新穂学校後援会」にも言えます。この会は、新穂地区の学校教育の振興に寄与することを目的に昭和23年に発足しました。以来、今日に至るまでの約70年もの間、小・中学生がいる・いないにかかわらず、各家庭が義務教育を支援する会費を出してくださっています。まさに「地域の子どもは地域で育てる」という精神が受け継がれている地域です。おかげで、新穂地区3校は充実した教育活動を進めることができています。この予算で、当校では昨年度、祖父母学級や学校田の稲作、スキー教室を実施し、校外学習用の自転車も購入させていただきました。

この地域には、校門から山王さんに向かう歩道脇に、年に2回も花を植えてくださる農家の方々もいます。今回はニチニチソウとサルビアを植えてくださいました。この植栽は何年も前からいただいています。一列に並んだ花が、登下校の子どもの心を明るく穏やかにしてくれています。



当校の子どもは、地域の皆様に物心両面から応援していただいています。それらの行為に甘え、単に感謝するだけでなく、地域を明るくし、皆様に喜んでいただけることを教育活動の一環として行ってまいりたいと考えています。

今年度も新穂地区運動会でトランペット鼓隊の演奏を披露します。公民館事業の「いきいき学級」で高齢者と交流します。一人暮らしの高齢者に「愛の一鉢」を贈呈したり、年賀状を書いたりします。

さらに、佐渡学単元を地域貢献型に改善することで、課題解決力や郷土愛を育てるだけでなく、地域の一員としての貢献意欲を高めたいと考えています。今後、4・5年生はトキの森公園に訪れる修学旅行生にトキガイドを、6年生は伝統芸能である鬼太鼓を継承し、披露・発信する活動を予定しています。